

TOYO TIRE 株式会社行動計画

TOYO TIRE は、さまざまな人財が活躍できるウェルビーイングな職場、多様性が包摂された魅力ある会社をめざし、多様な働き方への寛容性、柔軟性を高めるべく行動計画を策定する。

1. 方針

TOYO TIRE は、従業員が人生の中で迎えるライフイベントによる生活変化に理解を深め、仕事と生活の調和を実現する多様な働き方の選択肢の提供に努めていく。個々がより充実したマインドで仕事に従事し、個々の生活がより豊かなものに維持されることで、従業員が社会的な役割を果たしていけるような環境づくりを続ける。

- ① あらゆる従業員が仕事と生活の両立が叶うような働き方、休み方のサポート環境、体制を充実する
- ② 次代を担う世代へモノづくりや働くマインドの継承を通じ、従業員の職務意識の醸成と若者への職業観の醸成を図る

2. 計画期間 2024年1月1日～2025年12月31日までの2年間

3. 内容

目標1：多様な社員が、自律的・自発的に仕事と向き合い、柔軟な働き方を選択して、活躍できるよう取り組みを行う

<対策>

- あるべき働き方を描きながら、在宅勤務選択制度のレビューと充実・改善を行う
- 従業員と家族のウェルビーイング向上にむけた研究、制度充実を進める
- 子の看護休暇の有給化に向け、引き続き検討を行う

目標2：性別を問わず育休取得率100%を目指し、子育て支援制度の拡充と職場環境の整備

<対策>

- 男性育休取得率向上にむけて、各拠点に設置された相談窓口を通じ、育児に関わる諸制度について従業員への情報提供を継続する
- 独自のライフデザインハンドブックを制作、活用し、育児休業を含むさまざまな社内制度を周知、活用を促進する
- 有給となる育児休業日数の拡大について検討を行う

目標 3：インターンシップの継続実施と対象範囲の拡大による、将来社会で活躍する学生の支援

<対策>

- 大学からのインターンシップ受入要請への対応として、採用活動対象年次（学部3年、修士1年）以外の学生に対しても機会提供の検討を行う

目標 4：次世代で活躍する若者に対し、社会課題解決に向けた貢献・自社の持続的成長の観点から、職業観の早期醸成と当社のモノづくりの魅力を発信する

<対策>

- 教育機関へ当社従業員を講師として派遣し、講話を通じて社会やモノづくりを知る機会を提供し、「働くこと」に高い関心を持っていただく
- 講師を担当する当社従業員が社会人ではない生徒の目線で「働くこと」を改めて言語化して伝え、自身の業務と社会の接点を見つめる機会をつくる